

平成 21 年度事業計画

財団法人 千葉市教育振興財団

第 1 事業活動方針

市民文化の振興に寄与するため、教育、学術及び文化・文化財に関する各種の事業を行うとともに、生涯学習関連施設の管理運営を行う。

生涯学習センターについては、市民ニーズに基づいた学習活動を総合的に支援していくため、生涯学習情報の収集・提供及び生涯学習相談事業、生涯学習講座・講演会等の開催事業、指導者等養成事業、生涯学習に関する調査及び研究事業、メディア学習事業、生涯学習活動の支援に関する事業及び施設の維持管理業務や施設の貸出等の施設管理業務を行う。

美術館については、展示事業として特別企画の「大和し美し（やまとしうるはし）川端康成と安田靫彦」展などの各種企画展を合わせて 4 本、所蔵作品展を 5 本開催するとともに、これらの展覧会に関連した講演会等を行う。また教育普及事業では、市民に好評を得ているボランティアによるギャラリートークを継続するとともにワークショップ、小・中学生を対象として行っている鑑賞教育等を行う。

なお、平成 21 年度は千葉市が美術館の空調設備改修を行うため、平成 21 年 9 月初旬から翌 22 年 2 月中旬まで約 6 月間休館となるが、この期間中は 1 階のさや堂ホール、市民ギャラリー・いなげ、千葉市立郷土博物館において所蔵作品展を実施する。

千葉市民ギャラリー・いなげについては、平成 20 年度に引き続き千葉大学と連携して「展示を作る」展を実施するほか、好評を得ている「千葉市美術館所蔵作品展」を開催する。また、制作室・展示室を芸術・文化活動の拠点及び発表の場として貸し出すほか、歴史的建物の「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」の公開を行う。

埋蔵文化財調査センターについては、埋蔵文化財発掘調査及び出土品等の収蔵・保管を行うとともに、埋蔵文化財の保護に関する普及啓発を図るため、遺跡発表会や遺跡巡回展等を行い埋蔵文化財の意義並びに保護に関する普及啓発活動を行う。

第2 事業計画の内容

1 千葉市生涯学習センター

(1) 指定管理受託事業

① 生涯学習事業に関する業務

ア 生涯学習に関する情報の収集・提供及び生涯学習相談事業

市民の多種・多様な学習ニーズに対応した生涯学習情報の収集・提供、きめ細やかな生涯学習相談、生涯学習の普及・啓発、生涯学習ボランティアセンターの運営等を行い、市民の学習活動の充実を図る。

事業名称等	内 容 (講座等)
生涯学習に関する案内情報の整備・提供	1 生涯学習情報の収集・整理・提供 2 生涯学習情報提供サービス「ちばまなびネット」の運用・管理 3 普及啓発事業 (1) センター情報紙「生涯学習ひろばS a !」・生涯学習情報誌「できる！」の発行 (2) 各種ポスター・リーフレットの発行 (3) 企画展示
生涯学習関連資料の収集	1 専門情報の収集・整備 2 調査・資料室の運営 3 資料管理システムの運用・管理
生涯学習相談	1 相談員による相談の実施 2 生涯学習相談員の養成
ちば生涯学習ボランティアセンターの運営	1 生涯学習ボランティアの登録受付・登録者リストの作成・配布 2 登録ボランティアのコーディネートの実施 3 登録ボランティアのためのスキルアップ支援〔新規〕 4 登録ボランティアが編集する「ぼらセン通信」発行の支援

イ 生涯学習に関する講座、講演会等の開催

ちばカレッジについては「ちば」の魅力や文化の創造を再発見できる学習とし、また、現代的課題学習については、市民や千葉市を取り巻く状況を踏まえ、社会の要請に応じたプログラムを企画し、体験学習や創造学習を取り入れた事業を実施する。

事業名称等	内 容 (講座等)	予定回数
ちばカレッジ	「ちば」に関わる事象を対象に講座を実施する。 1 「ちばの大地と自然」 2 「もっと もっと ちば」〔新規〕 — ちば からのヒント—	1 0 1 0
現代的課題学習	子育てや青少年の育成、高齢者の生きがい、自分のキャリア（生き方・働き方）への関心、環境問題などの現代社会が持つ課題に対応した講座を実施する。 1 子育て支援（家庭教育講演会、親子で遊ぼう、わらべうたと絵本の会、ちば子ども学講座、PTA・保護者会新任役員研修、家庭教育に関する講座） 2 青少年育成（環境学習講座、子ども科学講座、子どもチャレンジ教室、放課後子ども教室支援）	4 6 1 8

現代的課題学習	3 高齢者生きがいづくり学習（デジカメピクニック、高齢者学習発表会）	1 3
	4 キャリアデザイン支援[新規]（子どものハローワーク、大学生向けのコミュニケーション講座、ワークライフバランス）	1 2
	5 各種機関等との連携（高等教育機関との連携、企業との連携）	1 6

ウ 指導者養成事業

市内の生涯学習・社会教育団体・グループ等の活動を支援するため、生涯学習施設関係職員やこれら団体・グループ等の指導者に対して、資質の向上、専門的知識や技術の習得に向けた研修を実施する。

事業名称等	内 容（講座等）	予定回数
指導者の養成	地域の生涯学習活動を支援するために、市民、生涯学習施設職員等を対象に指導者養成講座を開催する。 1 生涯学習指導者研修（活動に役立つ実践セミナー） 2 生涯学習関係職員研修（公民館職員研修） 3 職員研修	2 5 随時
学習ボランティア活動の支援	当センターをはじめ、市内生涯学習関連施設で活動するボランティアの養成等を行うとともに、「ちば生涯学習ボランティアセンター」登録者に対して研修の場を提供する。 1 施設ボランティア（まなびサポーター）養成研修 2 施設ボランティア（まなびサポーター）フォローアップ研修 3 生涯学習コーディネーター研修 4 生涯学習ボランティア研修（基礎・実践） 5 学習ボランティア活動の支援 （まなびサポーターによる企画講座、デジカメ相談会、パソコン相談コーナー、まなびサポーター手帳交付式）	1 6 1 0 3 5 8 8
研修生等の受入れ	教職員の社会体験派遣研修、大学生の社会教育実習、インターンシップ及び中学生の職場体験学習の場を提供する。 1 社会体験派遣研修（教職員） 2 社会教育実習（大学生） 3 インターンシップ（大学生） 4 職場体験学習（中学生）	随時 随時 随時 随時

エ 生涯学習に関する調査及び研究

講座の企画・立案を検討するための基礎資料として年間事業報告書の作成等を実施する。

事業名称等	内 容（講座等）
年間事業報告書の作成・配布	年1回、生涯学習センターの講座等の前年度実績などを掲載した年間事業報告書を作成し、関係機関へ配布する。 作成部数 600部
生涯学習に関する調査研究	地域学講座に関する調査研究を実施し、報告書を関係機関へ配布する。

オ メディア学習事業

市民ニーズの高いパソコン学習講座、視聴覚事業、映画鑑賞会の開催、マルチメディア体験ブースの運営等を行うとともに、新しい時代の学習活動を積極的に取り入れた学習講座の開設と視聴覚媒体やコンピュータに関する学習教材の整備を行う。

事業名称等	内 容 (講座等)	予定回数
パソコン講座	<p>市民の学習ニーズに対応して、講座の難易度を初級・中級・上級の習熟度別クラスに分けて実施する。</p> <p>1 初級パソコン講座 (1) 入門・初心者向け講座 (公民館出前パソコン講座) (2) 子ども向け講座 (3) 未就学児・小学生と保護者のための講座</p> <p>2 中級パソコン講座 (1) ワード講座 (2) デジタルカメラの講座</p> <p>3 上級パソコン講座 (1) ホームページ作成講座 (2) 画像加工講座 (3) エクセル講座 (4) パワーポイント講座</p> <p>4 市民自主企画パソコン講座(公募) 5 ボランティアによる講座 6 出前パソコン講座</p>	<p>1 9 2 2 2 1 2 4 8 1 2 2 4 2 4 1 2 3 4 2 0 5</p>
視聴覚事業	<p>1 6mm映画、ビデオ等学習教材を収集・貸出するとともに、操作講習会を実施する。また、所有する名画の上映会を当センターに限らず出前方式で実施する。</p> <p>1 視聴覚ライブラリーの運営 (1 6mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材を学校や地域への貸出) 2 視聴覚ライブラリーの収集・管理 (1 6mm映画フィルム・ビデオソフト等の教材・機材の計画的な収集及び管理) 3 1 6mm映写機操作講習会 4 視聴覚ライブラリー等を活用した学習事業の企画・実施 (1) 水曜名画座 (2) クラシック名画上映会 (3) 親子アニメ上映会 (4) 夜間上映会 (5) 地域交流幼児向け上映会 (6) 出前上映会</p>	<p>通年 通年 1 2 4 2 4 2 4 4 6 5</p>
マルチメディア体験ブースの運営	<p>子どもから高齢者までの誰もが、マルチメディアを体験できる場を提供する。</p> <p>1 PCブースの提供 インターネットの閲覧 2 AVブースの提供 VHSソフト、DVDソフトの視聴</p>	<p>通年 通年</p>

映像の学習	デジタル動画の加工編集に必要な知識や技術を身につける講座を実施するとともに、学習活動を映像として記録するボランティアの養成を図る。 1 デジタルビデオ編集講座 2 映像記録の作成	10 通年
-------	---	----------

カ 生涯学習活動の支援に関する事業

市民の自主企画講座への支援、ボランティアによる指導の支援など市民の自主的な活動を支援するとともに、他の生涯学習関係機関や施設で実施していない文化に関する学習機会を提供する。

事業名称等	内 容（講座等）	予定回数
市民の学習活動への支援	市民が自主的・主体的に学ぶための支援を行う。 1 市民の自主的学習活動に対する指導・助言・援助 市民自主企画講座（公募）	33
	2 市民楽団養成講座	17
学習成果の発表の 機会の確保	市民の活発な学習活動を自己完結させることなく、更なる学習の発展を図るとともに、他の市民への生涯学習の啓発を図るため、学習成果の発表の場の提供を図る。 1 まなびフェスタの企画・実施（12月5・6日） 2 発表・鑑賞機会の提供 （高等学校演劇発表会、舞台照明講座、ボランティア等による学習成果の発表、やすらぎのアトリウムコンサート、けやきコンサート、ミュージックフェスタ、まなびフェスタ合唱祭）	2 34

② 施設管理業務

ア 開館日・開館時間

次の休館日を除く通年開館とし、開館時間は午前9時～午後9時とする。

- ・毎月第4月曜日（祝日法の休日にあたる場合は、その翌日）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）

イ 施設貸出業務

生涯学習センター各施設及び附属設備の利用受付・貸出を行うとともに、次ページの利用料金を徴収する。また、施設の入場・退場に関する手続きを適正に行うとともに、附属設備の使用者に対し、利用方法の説明、指導等のサポートを行う。

（ア）施設利用時間帯区分・利用料金

区 分	条例上の上限 （1日につき）	利 用 時 間 帯 区 分			
		午前 9：00～ 12：00	午後 13：00～ 17：00	夜間 18：00～ 21：00	全日 9：00～ 21：00
ホ ー ル （平日）	50,800 円	12,750 円	17,670 円	12,750 円	43,000 円
（土日祝日）	50,800 円	13,250 円	24,300 円	13,250 円	50,800 円

区 分		条例上の上限 (1日につき)	利 用 時 間 帯 区 分				
			午 前 9:00～ 12:00	午後A 12:30～ 15:00	午後B 15:30～ 18:00	夜 間 18:30～ 21:00	全 日 9:00～ 21:00
研 修 室	研修室1・2・3	8,680円	2,280円	2,130円	2,130円	2,130円	8,500円
	大研修室	24,760円	6,460円	6,100円	6,100円	6,100円	24,500円
	食文化研修室	11,990円	3,130円	2,950円	2,950円	2,950円	11,500円
	工芸研修室	10,590円	2,770円	2,600円	2,600円	2,600円	10,500円
	小会議室	5,480円	1,440円	1,340円	1,340円	1,340円	5,000円
	特別会議室	23,920円	4,890円	4,080円	4,080円	4,080円	17,000円
	和室	8,800円	2,300円	2,150円	2,150円	2,150円	8,500円
マル チ メ デ ィ ア ス ペ ー ス	メディアエッグ	21,110円	5,510円	5,100円	5,100円	5,100円	20,500円
	パソコン学習室	22,170円	5,790円	5,450円	5,450円	5,450円	22,000円
	スタジオ	13,190円	3,440円	3,230円	3,230円	3,230円	13,000円
	AV調整室	9,730円	2,550円	2,380円	2,380円	2,380円	9,500円
	映像音声加工編集ブース	3,120円	ブース時間貸し・10か所(1時間あたり160円)				
	アナウンスブース	1,240円	330円	300円	300円	300円	1,200円
	デジタル音楽室1・2	960円	260円	230円	230円	230円	900円
	音楽スタジオ	12,890円	3,370円	3,170円	3,170円	3,170円	12,500円

(イ) 附属設備利用料金

区 分	品 目	単 位	金 額 (施設の利用時間 帯区分ごとに)	備 考
舞 台 設 備	ホール照明セット(ボーダーライト、アッパーホリゾンライト、 フロントサイドスポットライト、シーリングスポットライト)	1式	2,600円	
	ホール音響セット	1式	3,150円	
	はね返しスピーカー	1台	510円	
	演台及び花台	1式	510円	司会台を含む
	ホール用デッキセット(DVD、CD、MD、カセット)	1式	2,200円	
	幕板付会議机	1台	200円	
	椅子	1本	50円	折りたたみ、 スタッキング
	コントラバス用椅子	1本	100円	
	ピアノ椅子	1本	300円	
	指揮者用譜面台	1台	150円	
	演奏者用譜面台	1台	50円	
	指揮台	1台	300円	
	山台(平台)	1式	5,760円	
プログラムスタンド	1台	100円		
映 像 設 備	ビデオプロジェクター、スライドプロジェクター、OHP、 書画カメラ	1台	1,250円	可動用
	大型プロジェクター	1台	1,880円	マイクセット
	スクリーン	1式	830円	
	AVワゴン(ビデオ、テレビ)	1式	1,570円	
	16ミリ映画フィルムコンバーター	1台	1,780円	

音響設備	有線マイク・マイクスタンドセット	1式	720円	床置型、卓上型
	ワイヤレスマイクセット	1式	1,050円	ハンド型、 タイピン型
	デッキセット（CD、MD、カセット）	1式	1,680円	
	ダブルカセットデッキ（CD、MD、カセット）	1式	1,050円	
	移動用音響調整卓	1式	2,610円	
	周辺機器	1台	1,250円	
楽器	国産フルコンピアノ	1台	6,300円	
	電子ピアノ	1台	830円	
	楽器・アンプセット（ドラムス、シンセサイザー、ボーカルアンプ、ギターアンプ）	1式	1,570円	
その他	電子白板	1台	420円	
	展示用パネル、白板、掲示板	1台	100円	移動用

（ウ）利用カードによる施設予約受付業務

- a 利用カードにより、施設予約やマルチメディア体験ブース利用時の申請が簡略化される。
- b センター施設の予約状況をインターネット上で確認できる。

（エ）減免基準及び減免額

- a 障害者及び障害者団体が使用する場合は、利用料金の50%相当額を減額する。
- b 空き施設の利用率を高めるため、以下の場合には利用料金の30%相当額を減額する。
 - (a) ホール利用者が利用当日前1か月以内に練習のみに使用する場合
 - (b) ホール、映像音声加工ブース、アナウンスブース、デジタル音楽室を除く空き施設を直前（当日～1週間前）に申し込み使用する場合
- c その他必要と認める場合は減免する。

ウ 駐車場使用料の徴収・納入業務

駐車場の利用者から、使用料を徴収し、教育委員会の指定する金融機関に翌営業日に納入する。

エ ホームページの運営

ホームページを定期・随時に更新し、施設内容や講座・学習情報等の広報活動を行う。

オ その他業務

- (ア) 施設利用者の利便性及び安全性に十分配慮した接客等を行う。
- (イ) 各種問い合わせや見学者への対応など、施設利用者の円滑な活動のための必要な支援を行う。
- (ウ) その他、急病や災害時には、市や医療機関、関係機関と協力し、的確に対応を図る。

③ 維持管理業務

建築物保守管理業務、建築設備保守管理業務、清掃業務、警備業務、植栽維持管理業務、敷地内施設等管理業務、衛生管理業務、備品等保守管理業務その他の業務を行う。

(2) 自主事業

① アトリウムガーデンの活用（講座・イベントの企画・誘致）

アトリウムガーデン等を活用することにより、市民が生涯学習を通じて交流を図る場とする。また、ボランティアの活動や成果発表の場の提供にも寄与する。

事業名称	七夕かざりをつくろう	千葉市のふれあいカルタをつくろう
対象	子どもと保護者、来館者	小学生
時期	6月～7月	1月
回数・時間	1回2時間	1回2時間
定員	25組 50人	50人
内容	小学生及び一般来館者作成の短冊で七夕かざりをつくり、アトリウムガーデンに季節感を演出する。	子どもたちが、ふるさと「千葉市」の良いところ、自慢したいところ等で、独自のカルタを作ることによって、日本の韻文形式に親しむ。

② 放課後子ども教室支援業務

研修内容の指導法や実技を通して、子ども教室の企画・運営の向上に役立て、併せて参加者の意見交換やグループワークによりコーディネーター間の親交を図る。

事業名称	コーディネーター等研修会
対象	放課後子ども教室コーディネーターまたは指導員・協力員
時期	10月
回数・時間	2時間×4回
定員	30人×4回
内容	放課後子ども教室に活用できる実技等

③ 生涯学習ボランティアセンター活動促進

生涯学習ボランティアセンターを広く周知するとともに、登録者の活動の場を提供する。

「ちば生涯学習ボランティアセンター」に登録している個人・団体登録者相互の交流を図ると共に、生涯学習及びボランティア活動に対する市民の理解促進、普及・啓発を図る。

事業名称	生涯学習ボランティアパーク	
対象	生涯学習ボランティアセンター登録者・市民	
時期	11月	2月
回数	1回1日	1回1週間
内容	生涯学習ボランティアに関する講演会	登録者による講座・講習会、アトリウムガーデンでのステージ発表、活動紹介展（パネル展示）

④ 生涯学習関連施設メディア学習支援業務 [新規]

市民のメディア学習の機会を拡充するため、パソコン講座を開催しようとする公民館等の生涯学習施設に対して必要な機材を貸与する。

<貸与する機材> ノートパソコン33台ほか周辺機器

⑤ 緑の環境整備事業 [新規]

ア 緑のカーテン事業

千葉市生涯学習センターの壁面周辺に、アサガオ等の「つる植物」を植栽し、夏季期間中の緑化を推進する。

(ア) 設置時期 平成21年5月～9月(予定)

(イ) 設置(施工)場所

a 外壁:センター西側(駐車場側)壁面の一部 10m(幅)×4m(高)

b 屋上:2階屋上の一部(小会議室窓側周辺) 14m(幅)×3m(高)

イ 緑化調査事業

生涯学習センターにおける緑化事業のあり方の調査を行う。

ウ 正面出入り口やアトリウムガーデン内、第1駐車場等に、季節の花を展示する。

⑥ その他の利用者支援事業

ア 自動販売機設置 2階・3階に各1台設置

2 千葉市美術館

美術に関する市民の知識の向上を図るとともに、市民に親しまれる美術館を目指し、本年度は、企画展4本・所蔵作品展5本を開催する。また、教育普及事業として学芸員とボランティアスタッフの連携により幅広い事業活動を展開するほか、展覧会開催中における講演会や子ども向け関連イベント等を行い、美術に関心を持つ人々の底辺拡大を図る。その他美術品収集、保存、調査研究事業等もあわせて行う。

(1) 指定管理受託事業

① 展示事業

特別企画として、「大和し美し（やまとしうるわし）川端康成と安田靫彦」展を開催するほか、企画展2本と、毎年度実施している市民展（第41回千葉市民美術展覧会）及び美術館所蔵作品展5本の計9本の展覧会を実施する。

なお、平成21年度は、美術館の空調設備改修に伴い約6月間休館となるが、この期間中は、美術館さや堂ホール、千葉市民ギャラリー・いなげ、千葉市立郷土博物館において計3本の所蔵作品展を実施する。

ア 【特別企画】

企画展名	大和し美し（やまとしうるわし） 川端康成と安田靫彦
期 間	平成21年4月4日（土）～5月10日（日） 35日間
主 催	千葉市美術館・ミホミュージアム
巡 回 先	ミホミュージアム（平成20年度に開催済み）
内 容	日本人として初めてノーベル文学賞を受賞した川端康成（1899-1972）と、近代を代表する日本画家である安田靫彦（1884-1978）の、創作の源泉となった美術品など約250点を展示。

イ 【春季企画】

企画展名	パウル・クレー 東洋への夢
期 間	平成21年5月16日（土）～6月21日（日） 36日間
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	静岡県立美術館・横須賀美術館
内 容	スイスの首都ベルンにあるパウル・クレー・センター（美術館）に所蔵されるクレーの水彩画と素描を中心に約80点を展示。展覧会のテーマとして、『北斎漫画』などの東洋美術がクレーに与えた影響を視野に入れる。

ウ 【夏休み企画】

企画展名	瀧澤久仁子コレクション 祈りを綴る染と織-タイの美しい布（仮称）
期 間	平成21年6月27日（土）～8月9日（日） 42日間
主 催	千葉市美術館
巡 回 先	未定
内 容	タイの古都チェンマイに暮らした故・瀧澤久仁子氏が遺した膨大な染織コレクションの中から、故人が最も愛したタイ族の布文化を示す約200点あまりの作品を初公開。あわせて、瀧澤氏自身が旅の中で撮影した写真も紹介する。

エ 市民展

企画展名	第41回千葉市民美術展覧会
期 間	平成22年3月6日(土)～3月26日(金) 21日間
主 催	千葉市美術協会・千葉市文化連盟・千葉市・千葉市美術館
内 容	市民から公募した作品及び千葉市美術協会会員の作品約1,000点を7部門に分けて展示する。

ク 所蔵作品展Ⅰ

所蔵作品展名	江戸浮世絵巻
期 間	平成21年5月16日(土)～6月21日(日) 36日間
内 容	当館の所蔵作品の中から、浮世絵作品のコレクションを展示する。

ケ 所蔵作品展Ⅱ

所蔵作品展名	石井光楓展—パリの青春／こんな作品あったよ～中学生が選ぶ所蔵作品展～
期 間	平成21年6月27日(土)～8月9日(日) 42日間
内 容	「石井光楓展」は、戦前のパリでも評価を得た房総出身画家の画業を紹介する。 「こんな作品あったよ」は、平成20年度に千葉市内の公立中学校で展開された鑑賞授業の成果をもとに構成・展示する。

コ 所蔵作品展Ⅲ

所蔵作品展名	現代美術・立体(仮称)
期 間	平成21年9月15日(火)～平成22年1月15日(金)頃
会 場	美術館1階さや堂ホール
内 容	所蔵作品の中から立体造形を展示する(会期中展示替を行う)。

サ 所蔵作品展Ⅳ

所蔵作品展名	千葉ゆかりの作品(仮称)
期 間	平成21年9～10月頃(約2週間)
会 場	千葉市立郷土博物館
内 容	戦前の千葉市で制作を行っていた無縁寺心澄など千葉ゆかりの作品を展示する。 千葉市立郷土博物館との共催。

シ 所蔵作品展Ⅴ

所蔵作品展名	サトウ画廊コレクション(仮称)
期 間	平成21年12月15日(火)～12月26日(日) 11日間
会 場	千葉市民ギャラリー・いなげ
内 容	戦後東京で、若い画家たちに応援を惜しまなかった画廊の活動を紹介する。

② 教育普及事業

ア 展覧会関連の各種講座やギャラリートークなど

講座名等	会場	参加予定(人)	時期
「大和し美し 川端康成と安田靫彦」 講演会等	美術館講堂	延べ 300	会期中 3 回
「パウル・クレー 東洋への夢」 講演会	美術館講堂	延べ 300	会期中 2 回
「祈りを綴る染と織ータイの美しい布」 講演会	美術館講堂	延べ 300	会期中 2 回
「祈りを綴る染と織ータイの美しい布」 関連コンサート	さや堂	延べ 300	会期中 2 回
ボランティアによる各展覧会定例ギャラリートーク	展示会場	延べ 192	会期中週 1 回
ボランティアによる各展覧会自主ギャラリートーク	展示会場	延べ 350	未 定
学芸員による各展覧会ギャラリートーク	展示会場	延べ 80	6 回
展覧会に関連するワークショップ	未定	35	年間 2 回
ボランティアによる立ち寄りワークショップ	未定	200	年間 1 回

イ ボランティアスタッフとの協働

ボランティアスタッフ 29 人（平成 21 年 2 月現在）により、ギャラリートークを実施する。また、前年度に引き続き、小・中・特別支援学校鑑賞教育と学校団体鑑賞プログラムにおける鑑賞リーダーや、各種ワークショップへの協力を依頼するなど、幅広い活動を実施する。

ウ 学校との連携事業

- ・ 小・中・特別支援学校鑑賞教育推進事業
- ・ 小・中・特別支援学校団体鑑賞プログラム（団体での来館者に対応）
- ・ 中学生の職場体験学習（館内施設の見学、展示・撤去作業等の体験）
- ・ 千葉県図工・美術担当教諭鑑賞一日研修事業
- ・ 千葉県教育研究会美術館活用グループとの連携（月例研究会の開催及びワークショップ等の事業連携開催）

エ アウトリーチプログラム

市民の芸術文化育成と、地域の活性化を目的として、千葉大学や地域 N P O と連携し、市内外の若手芸術家を核に据えて事業を実施する。

オ 博物館実習

大学で博物館学芸員の資格を取得する学生を対象として、博物館実習を実施する。
（年間 2 グループ延べ 24 人まで。各グループ延べ 6 日）

カ 図書室の管理運営

市民が自ら調査研究することを支援する目的から、美術館図書室にふさわしい図書を中心に充実させるとともに、利用しやすくするよう努める。

③ 収集事業

千葉市と協議・連携し、すぐれた美術品の収集に努め、より充実したコレクションの形成を図る。

④ 保存事業

収集作品の性質・現状を十分考慮し、管理には細心の注意を払い、必要なものに修復を施すとともに、保存・保管に万全を期す。空調設備改修期間中は、作品の避難保管先への移動が円滑にできるように努め、元の収蔵庫に戻るまで責任をもって管理を行なう。

⑤ 調査研究事業

調査研究の成果は、研究紀要等をはじめとする出版物等をもって公表し、市民へ情報サービスとして提供していく。

⑥ 施設管理事業

ア 施設の利用

市民ギャラリー・講堂・講座室を団体等へ貸し出し、さや堂ホールにおいては、企画展等の関連コンサートなどを開催するほか、貸しホールとしても積極的に活用を図る。また、図書室の市民利用の促進をはかり、美術全般への関心を促す。

(ア) 開館日

次の休館日を除く通年開館とする。

- ・毎月第1月曜日（祝日法の休日にあたる場合は、その翌日）
- ・年末年始（12月29日～1月3日）
- ・空調設備改修による休館（平成21年9月初旬から翌22年2月中旬まで）

(イ) 開館時間

- ・展示室 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・市民ギャラリー 午前10時～午後6時（金・土曜日は午後8時まで）
- ・さや堂ホール・講座室・講堂 午前10時～午後9時

イ 維持管理業務

建築物保守管理業務、設備機器管理業務、備品等保守管理業務等、千葉市の「管理運営の基準」に基づく管理業務を実施する。

(2) 自主事業

市民芸術文化の拠点としての美術館の設置目的を果たすため、受託事業を補完する意味での自主事業の企画は、きわめて重要であるとの考えに基づき、美術などの芸術文化に親しんでもらうために、講座等多様なイベントを実施する。

① イベント事業

講座名等	会場	参加予定(人)	時期
市民美術講座	美術館講堂	延べ 250	年間 5 回
学芸員出前講座（館外での講座も含む）	市民文化大学他	延べ 350	年間 6 回
「展示を作る」（実際展示）	市民ギャラリー	500	7 月頃

② 友の会運営事業

美術に広く関心を持つ人々の美術に関する知識及び教養の向上を図るとともに、千葉市美術館の円滑な運営を目指し、芸術文化の振興に資するため、「千葉市美術館友の会」を運営する。

③ 収納事務事業

千葉市美術館の平成 17 年度以前の図録等の売上の収納事務を実施する。

④ 美術館環境整備事業

来館者に美術館を快適に利用してもらうため、美術館の環境整備を図る。

特に空調改修工事実施期間中は、この期間を生かして、展示室まわりの整備と、所蔵作品や展示備品についての庫内整理作業を重点的に行なう。また所蔵作品の一部に関して、公開を目指した資料を整理していく。

3 千葉市民ギャラリー・いなげ

各種の展覧会を開催するとともに、千葉市における美術を中心とした芸術活動の一拠点として、多くの市民の利用促進を図る。また、歴史的建物である「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」を広く市民等に公開する。

(1) 指定管理受託事業

① 展示事業

展示事業名	「展示を作る」
期 間	平成 22 年 1 月 13 日（水）～1 月 24 日（日）
内 容	千葉大学と連携し、大学の授業として展覧会の展示を取り上げ、その締め括りとして千葉市民ギャラリー・いなげで展示をする。詳細は未定。

展示事業名	「千葉市美術館所蔵作品展-近代版画」(仮称)
期 間	平成 22 年 2 月 9 日（火）～2 月 21 日（日）
内 容	千葉市美術館の所蔵作品の中から、近代版画を紹介する予定。

② 施設活用事業

制作室・展示室を美術等の芸術・文化活動の拠点及び発表の場として各種団体等へ貸し出しを行う。

ア 開館時間

- ・展示室 午前 9 時～午後 5 時 15 分
- ・制作室 午前 9 時～午後 9 時

イ 休館日

- ・月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日）
- ・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

③ 歴史的建物公開管理事業

稲毛の歴史・文化の理解や関心を深めるために、国の登録文化財である歴史的建物の「旧神谷伝兵衛稲毛別荘」を広く市民等に公開する。

なお、千葉市からこれに類似する歴史的建物の公開管理を受託した場合は、同様に公開を行う。

ア 公開時間

午前 9 時～午後 5 時 15 分

イ 休館日

- ・月曜日（祝日法の休日にあたるときは、その翌日）
- ・年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）

※ なお、千葉市から公開管理を受託する施設の公開時間、休館日等は委託条件による。

4 千葉市埋蔵文化財調査センター

埋蔵文化財調査センターでは、土地の開発等によって失われつつある埋蔵文化財を記録として後世に伝えるため、文化財の適正な保護と効率的な調査を目指し、調査体制の更なる整備・強化を図るとともに、遺跡発表会や現地説明会、調査センター内での展示・説明等を通して、埋蔵文化財の意義ならびに保護に関する普及啓発活動を行う。

(1) 受託事業

① 埋蔵文化財発掘調査事業

埋蔵文化財発掘調査事業は、埋蔵文化財を記録として保存するため、千葉県教育委員会及び千葉市教育委員会の指導のもとに発掘調査、整理・報告書刊行を行う。

番号	事業名	委託者	遺跡		調査内容
			名称	種別	
1	千葉市公共事業等に 伴う整理事業	千葉市	餅ヶ崎遺跡 <small>もちがさき</small>	旧石器時代 ほか	基礎整理
2	重要遺跡発掘調査事業	千葉市	園生貝塚	縄文時代	整理・報告書刊行
3	市内遺跡発掘調査事業 (国庫補助事業)	千葉市	市内全域		確認調査 12,000 m ²
4	市内遺跡再整理事業 (国庫補助事業)	千葉市	市内全域		既報告資料の再整理
5	開発事前調査事業	千葉市	市内全域		突発的に発生した工事 等に対応 確認・本調査 2,500 m ²
6	店舗建設に伴う発掘 事業	三菱地所(株)	大膳野南貝塚 <small>だいぜんのみなみ</small>	縄文時代～ 中世	確認・本調査 17,270 m ²
7	<small>みやこ</small> 都 県営住宅解体工事に 伴う発掘事業	千葉県	向ノ台遺跡 <small>むかえのたい</small>	縄文時代～ 中世	本調査 8,000 m ²

② 文化財普及事業及び収蔵保管事業

遺跡発表会・現地説明会・遺跡巡回展・センター展示室の公開、学校等への資料貸出を行い、文化財に関する理解を深め、保護思想を培うとともに、発掘調査で得られた遺物や記録類の散逸や損壊を防ぎ、後世の活用にあたるための収蔵保管を行う。

ア 遺跡発表会等

(ア) 千葉市遺跡発表会

- ・開催時期 平成22年3月上旬
- ・場 所 千葉市生涯学習センター（予定）
- ・内 容 平成21年度に調査した遺跡等について、調査成果を広く市民に公開する。

(イ) 出土遺物巡回展「地下50cm・文字の世界(仮)」((財)千葉県教育振興財団他とともに主催)

- ・ 展示期間 平成21年7月4日(土)～平成22年2月21日(日)
- ・ 場 所 千葉県立房総のむら、千葉県立関宿博物館、八千代市立郷土博物館、袖ヶ浦市立郷土博物館、市立市川考古博物館、千葉県立中央博物館
- ・ 内 容 遺跡から出土した文字に関する考古資料等を、広く県民に公開するため、県内6カ所の展示施設で巡回展示する。また、千葉県立中央博物館(予定)において、展示遺跡に関する調査・研究成果の発表会を期間中に1回実施する。(平成22年2月中旬)

(ウ) 遺跡現地説明会

- ・ 内 容 郷土の歴史と埋蔵文化財保護の重要性を広く理解してもらうため、発掘中の遺跡の現地説明会を行う。

(エ) 埋蔵文化財ロビー巡回展

- ・ 開催時期 平成21年8月から平成22年1月
- ・ 場 所 各区コミュニティセンター他(予定)
- ・ 内 容 発掘調査が完了した遺跡及び遺物を通して、市民に広く地域の歴史を理解してもらうため、出土品等の展示を行う。また、各区での展示期間中に講演会を1回実施する。

イ 学校・生涯学習関連施設との連携

(ア) 貸出事業 「見て、触れて、みんなの古代体験」

- ・ 内 容 埋蔵文化財資料に直に触れる機会を通して埋蔵文化財への理解を深めってもらうため、学校及び生涯学習関連施設等へ、整理の終了した土器や石器等の遺物の貸し出しを行う。

(イ) 出前授業

- ・ 内 容 埋蔵文化財に関する学生・市民の興味及び保護思想を喚起するため、職員が学校及び生涯学習関連施設等に出向き、「勾玉作り」・「火起こし」等の体験指導や講演を行う。

ウ 展示室の公開

- ・ 時 間 午前9時から午後5時15分まで(年末・年始・祝祭日を除く)
- ・ 内 容 速報コーナー資料の展示替、展示説明

エ 資料の収集及び保管

発掘調査の完了した調査資料及び出土文化財等をセンター資料として整理・収納・管理し、関連資料の収集に努めて今後の活用にも備えるとともに、文化遺産としての恒久的な保管をする。

③ 千葉市埋蔵文化財調査センター管理運営事業

施設の清掃、小破修繕など施設全般の維持管理を行う。